

フットケアの日 メディアセミナー2022

フットケアの日に、足病を考えよう。

Act Against Amputation 代表理事 大浦紀彦
杏林大学医学部形成外科教授

Act Against Amputation では、糖尿病や重症下肢虚血で足を切断する人を一人でもなくすために、市民公開講座やメディアセミナーなどを開催する活動を 2014 より続けてきました。みなさま。重症下肢虚血、あるいは、包括的高度慢性下肢虚血（CLTI）という病気をご存じでしょうか。また糖尿病で細菌感染を起こすと壊死に陥り、切断になる可能性が高いということをご存じでしょうか。重症下肢虚血、あるいは包括的高度慢性下肢虚血は、動脈硬化が進行して動脈が閉塞した狭窄（狭く）して足が虚血壊死に陥る疾患です。

さらに、これらの疾患の生命予後は悪く、大腸がんと同程度と言われていますが、しかし一般には知られていません。

2012年に2月10日は、フットケアの日と制定されました。

この度、フットケアの日を前にしてメディアセミナーを企画いたしました。

今回は、参議院議員の秋野公造先生、日本フットケア・足病医学会の理事長の寺師浩人先生とこの領域に詳しい3名の演者をお呼びして、一般の方々へ啓発をしていただきたく思い、メディアの皆様にお集まりいただけるように企画をいたしました。

是非、フットケアの日に足病を考え、自分の足をみつめる機会としていただきたいと思います。

以上

記

開催日時：2022年2月4日金曜日 18時-19時30分

場所：Zoomによるweb開催

- ・一般の方々も聴講も可能です。
- ・zoom URL <https://us02web.zoom.us/j/82267855255>
- ・お問い合わせ aaa.gyomu@gmail.com

杏林大学病院 形成外科 大浦紀彦 0422-47-5511